

## 新セミナーハウス紹介

2015年度に建て替えられた飛鳥寮と純林苑。それぞれ設計を担当された環境デザイン学科の岸本章教授と松澤穂教授に紹介いただきます。

### 奈良古美術セミナーハウス

#### 飛鳥寮

飛鳥寮の敷地は奈良市南部、窪之庄集落の南端で、周辺には今も伝統的な民家と水田の景観が残る地域です。急勾配と緩勾配の屋根が二重になった「大和棟」と呼ばれる形状と、主屋と門に黒漆喰の壁を持つ民家が見られることから、建築のボリュームと色を揃えて景観に違和感なく調和するように配慮しました。道路側から見た姿には、1日中見学で歩き回り、疲れて戻ってきたときにやさしく迎える表情を持たせるように心がけました。2段ベッドの6人部屋が4室、ツインルームが2室、和室1室という構成になっています。

飛鳥寮は学生たちが昼間の体験の余韻を楽しむ、語り合えるような場であり、翌日の見学のためにゆっくり休める場であることが求められます。もう少しここに滞在したいと思わせ、何度も来たいと思わせるような、親密で落ち着いた空間を提供できることを目標としました。このために内部空間は可能な限り無垢の木材を使用し、床は奈良県産の松材、壁の一部と食卓、椅子は杉材を用いています。無垢材であることでその経年変化をも楽しみ、時間を経ることで出る美しさが得られます。食堂の椅子は環境デザイン学科の川上元美客員教授のデザインです。また設計のプロセスには学生たちも参加し、キーホルダー、コート掛け、傘立てなどの備品類の制作を担当しました。

学生にとって別荘のような感覚で長期滞在でき、美術を学ぶ者にとって貴重な経験ができる旅の拠点として活用してもらえることを望んでいます。

環境デザイン・岸本章教授

#### 【概要】

奈良古美術セミナーハウスは、奈良、京都の日本古美術の鑑賞並びに研究の便宜を図るため1965年に設置しました。現在も古美術研修の拠点として多くの学生に利用されています。

#### 所在地

〒630-8431 奈良県奈良市窪之庄町117

設計監理：環境デザイン学科 岸本章

設計協力・施工：松井建設株式会社大阪支店

敷地面積：1,469.59㎡

建築面積：273.82㎡

延床面積：264.83㎡

構造規模：木造 平屋

収容人員：37名



### 《セミナーハウス利用案内》

利用資格：本学の学生、教職員・卒業生（含む元在籍者）とその家族

利用方法：利用予定日の1週間前までに、以下の申し込み先に料金を納入し手続きを完了してください。

学生⇒学生課

教職員⇒総務課

卒業生⇒校友会

	学生・教職員	卒業生
利用料	900円	1,800円
食費	朝	500円
	昼	500円
	夕	900円

※昼食は富士山麓セミナーハウスのみ

※利用料は1日ごとの金額

※食事の有無・組み合わせは選択可



### 富士山麓セミナーハウス

#### 純林苑

建物はひたすら機能的に、そして人々の命を預かる安全な器として、出来てしまえば昔からそこにあったように、取り立てて意識されることもなく建っています。しかし建物と呼ばれ、建築家が呼ぶ「空間」には、デザインとしての意図があり、アートのような暗喩が込められています。

自然公園法による色やカタチに至るまでの厳しい制約を受けつつも、富士山のすそのシルエットを写した大屋根を冠し、旧純林苑の懐かしい記憶を繋ぎとめる「ズミの木」を中心に囲む中庭を宿しています。ロラン・バルトが皇居のあり方を看破したような大きなことではありませんが、ズミの木を中心に水平的にも垂直的にも巡ります。だから1階から3階まで貫く直階段の位置はこの位置なのです。中庭を囲む螺旋状の動線は、美術に対する無限の自由の象徴です。中庭の溶岩はすべてこの敷地の土工事からたもの。これも富士山の噴火による溶岩流の上に立つ原風景の暗喩です。建築にはそのように見えづらくも「大きな話」から、小さなスケールの話まで連なりがあります。例えば

照明。たくさんの裸電球が並んでいます。一つ一つは、学生たちの個性の象徴です。その明かりたちが純林苑の空間には満ちています。このプロジェクトに設計から竣工に至るまで携わった学生たちの明かりでもあります。また家具も小さな建築と捉えています。食堂の家具は、工芸学科の小林光男教授と鈴木泰三助手によるいくつもの原寸大モックアップの試行錯誤を経て、Lアングルの柱とベニアの床の小さな建築。ベンチの座り心地も気にしてみてください。ちょっと低めです。寸法は落ち着き感を左右します。宿泊室の二段ベッドの、そのあいだを離すことによる棚板兼階段はオリジナルなアイデアです。ハシゴに邪魔されることなくベッドに腰掛けることができます。エントランスホールマットは、テキスタイルデザイン専攻の高橋正教授のオリジナルデザインです。コンクリートの簡素な床に、柔らかな質感が足裏を迎えます。

このように意図を説明してしまうと、作為性がブンブンのようにも思われますが、やはり建築は人々の器として、すうっとと無意識に響き、いい時間を過ごせた心地が残ってさえいればいいと思っています。

環境デザイン・松澤穂教授

#### 【概要】

富士山麓セミナーハウスは、1966年に設置しました。周囲は国立公園特別指定地区となっており、とくに周辺のハリモミ純林は世界に類を見ない貴重な森林となっています。

#### 所在地

〒401-0501 山梨県南都留郡山中湖村山中1213

設計監理：環境デザイン学科 松澤穂

設計協力・施工：松井建設株式会社東京支店

敷地面積：8395.85㎡

建築面積：848.17㎡

延床面積：1376.66㎡

構造規模：鉄筋コンクリート造

収容人員：80名

